

日本がん・生殖医療学会 市民公開講座 2026

「AYA 世代への里親・養子縁組の情報提供の在り方」

日 時：2026年2月22日(日) 14:00～16:00(開場 13:40)

場 所：奈良春日野国際フォーラム 蓬～I・RA・KA～
2F「レセプションホールⅠ」

参加費：無 料（当日会場へお越しください）

※「第16回日本がん・生殖医療学会学術集会」へのご参加を
ご希望の方は、別途学術集会への参加登録が必要です。

【ご挨拶】

がん・生殖医療は若年のがん患者さん達が将来自分のお子様をもつために卵子や精子等の凍結保存を行う医療ですが、妊娠性を温存できなかった方が家族を持つための「新しい家族のカタチ」である里親制度・特別養子縁組制度の情報提供・普及にも力をいれております。

■座長

杏林大学医学部 産科婦人科 教授 谷垣伸治 先生

日本がん・生殖医療学会 患者ネットワーク 代表 牧野あづみ 先生

■登壇者と講演タイトル

1. 「里親・養子縁組普及動画の評価と今後の展望」

獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 教授 杉本公平 先生

2. 「プレコンセプションケアとしての里親・養子縁組制度」

杏林大学医学部 産科婦人科 教授 谷垣伸治 先生

3. 「育てたい人へのより適切な情報提供タイミングを考える」

静岡大学人文社会科学部 教授 白井千晶 先生

4. 「里親委託から措置解除、そしてその後の経過～九州のファミリーホームより～」

獨協医科大学埼玉医療センター 産婦人科 助教 加藤弘輔 先生

本市民公開講座は【厚労科研(23EA1016)
(小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖
医療における心理社会的支援体制の構築と安
全な長期検体保管体制の構築を目指した研究
—サバイバーシップ向上を指向して)】
の支援を受けています。

